

規約決議・ソルト委員会

委員長／伊瀬知美里 副委員長／布村洋子
委員／山崎仁美・内田順子・宮本順子

新入会員の内田順子さんを迎えて、7月にはソロプチミストの歴史・組織を紹介、周年事業に向けたアンケートを2回実施しそのまとめを発表。又役員の指名と選挙についての説明や、ローレルソサエティ寄付等を解り易く説明し個人寄付を募り充実した活動が出来ました。そして、リジョン大会でのWish-bone Back-bone Funny-boneをベースに来期はミニソルトを定例会で毎月実行したいと思います。



奉仕プログラム委員会

委員長／鬼塚静波 副委員長／萩野厚子
委員／三嶋悦子・鳥井彩子・坂田峰子

8月、熊本市代表4名的女子高校生を引率して福岡開催のガールズカンファレンスに参加しました。2月定例会では『女性に機会を与える賞(WOA)』A.K.さんのクラブ表彰式行い、さらに南リジョン大会でアメリカ連盟賞と日本南リジョン賞の二賞を受賞しました。今年はWOA賞への95クラブ参加100%の目標を達成し、多くの女性を支援できたことでWOA賞の認識が広まったことを感じました。また、パイオレトリチャードソン賞は千原台高校の栢田麻帆さんを学校訪問して表彰いたしました。



広報委員会

委員長／安楽美代子 副委員長／高慶えつこ
委員／鶴田美恵子・魚住昌子・田中ゆかり

新しいリーフレットの制作と、以前からの懸案だったHPリニューアルを目標に、委員会の活動を始めました。おかげさまで、無事、今期中に終了することができホッとしました。その他、夢を生きるアートコンテストでは、会員の協力もあってたくさんの作品が集まり、アメリカ連盟へ応募することができました。また、くまもと県民交流会館パレアにて、熊本市内4クラブ合同での展示会を企画し、たくさんの方々に観ていただくことができました。



メンバーシップ委員会

委員長／藤田香織 副委員長／佐藤幸恵
委員／與繩恭子・小川真奈美

新規会員の募集活動を行うとともに、会員同士が互いを知りたがいに興味をもち、親睦を深め、そこから、一人一人が会にとってかけがえのない人であると感じていただき、会そのものの“絆”が強くなるような活動を行うよう心がけました。今年は1名の新入会員を迎えてうれしく思います。



財務資金調達委員会

委員長／米村昌子 副委員長／東和子
委員／川口延子・米満智子・糸田由子

資金調達の目的で、恒例のチャリティーゴルフの開催、加えてチャリティー昼食会も企画し、乳児用呼吸モニターを2台贈呈することが出来ました。わかばBOXも会員の協力で、クラブの活動・運営の重要な資金源となっています。初めて財務資金調達委員会を担当させて頂き、活動する為の資金調達の重要性、会員が納める年会費の流れ等を改めて認識出来ました。



ソロプチミスト日本財団委員会

委員長／緒方洋子 副委員長／坂本直美
委員／山本康子・岡本昭子・津田寿子

初めての女性研究者賞の申請を『SI 熊本』と合同で、熊本大学発生医学研究所教授桑昭苑先生に決定して、表彰式と卓話『IPS細胞を用いた再生医療研究』を行いました。参加会員40名で大変評価の高い卓話でした。また、日本財団年次大会(新潟市開催)にも会長始め8名の会員が参加しました。社会ボランティア賞は、音楽のボランティアを行っておられる「うらた剛さん」に決定し、チャリティー昼食会にて表彰式を行いました。



Wakaba

Vol.8
2013.JULY～2014.JUNE



Soroptimist International of Kumamoto-WAKABA

一歩ずつ、着実に歩みを進めて…

わかばも8期目を迎えました。これまでに培われてきたわかばのオリジナリティを生かしながら、継承し発展させて行けたらと活動をしてまいりました。7月には熊本クラブとの合同での熊本大学桑昭苑先生の「日本財団女性研究者賞」表彰に携わりました。10月のWOA(女性に機会を与える賞) 熊本県内研修会に参加。又、わかば第6回チャリティーゴルフ開催では、雨の中にも関わらずたくさんの方々のご参加を頂き、例年同様、熊本市保育園連盟に「乳児用呼吸モニター」を寄贈することが出来ました。11月の日本財団新潟大会参加。3月の市内4クラブ合同アートコンテスト開催。4月のリジョン大会では、わかば推薦者のWOA表彰があり等々。2回目になりますが、5月のわかばチャリティー昼食会開催時に、日本財団社会ボランティア賞の推薦・表彰もいたしました。今年も実り多き1年を過ごすことが出来ました。収益活動・奉仕活動・顕彰事業等、どれをとりましても、会員相互の理解と思いやりに支えられて実行することが出来ました。又、姉妹クラブの協力、わかばを見守って下さっている方々のお力添えがあればこそと、心から感謝申し上げます。9期布村新会長にもこの思いは受け継がれていくことでしょう。これからも、一歩ずつ、着実に、歩みを進めてまいりたいと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



SI 熊本一わかば
会長 松井 素子

SI Kumamoto-Wakaba
President
MOTOKO MATSUI

2013 年度 クラブ役員

会長／松井 素子

副会長／三嶋 悦子

副会長／魚住 昌子

レコーディングセクレタリー／田中 ゆかり

コレスポンディングセクレタリー／小川 真奈美

トレジャラー／米満 智子

アシスタントトレジャラー／糸田 由子

理事／津田 寿子

理事／宮本 順子

『わかば』は働くお母さんを応援しています!!
ママと赤ちゃんに安心を♡

熊本市保育園連盟にSIDSを予防する
『乳児用呼吸モニター』を寄贈しています

[寄贈先]

仁愛乳児保育園／上ノ郷保育園／小木保育園／飽田東保育園
城高保育園／仁愛幼稚園／浄法たから保育園／こじか保育園

乳幼児突然死症候群『SIDS(Sudden Infant Death Syndrome)』とは？

元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんが、ある日睡眠中に呼吸が止まって突然死亡する病気です。ヨーロッパでは、SIDSが乳児死亡の大きな原因となっています。日本でも1年間に147名の赤ちゃんがSIDSで亡くなっており新生児期を除く乳幼児の死亡原因の第2位となっています。(厚生労働省『平成22年人口動態統計』より)SIDSのはっきりした原因はまだわかっていません。この病気は今のところ予測は不可能で、完璧な予防法也没有せん。



国際ソロプチミストとは…

国際ソロプチミストは実業界で活躍する女性、専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕組織で、地域社会と世界中で、女性と女兒の生活を向上させる活動をしています。

ホームページのご案内

国際ソロプチミスト熊本一わかばの最新情報をいち早くチェック!!

ソロプチミスト 熊本 わかば 検索
<http://www.sik-wakaba.org>

国際ソロプチミスト熊本 一わかば
<http://www.sik-wakaba.org>

[事務局] 〒860-0832 熊本市中央区荻原町5丁目23-1109

藤田香織

[例会日時] 毎月第3水曜日 12:00～15:00

[例会会場] 熊本ホテルキャッスル TEL 096-326-3311

● 発行 2014年6月30日

国際ソロプチミスト熊本一わかば 広報委員会

会長／松井 素子 広報委員長／安楽 美代子 広報副委員長／高慶 えつこ

委員／鶴田 美恵子・魚住 昌子・田中 ゆかり 監修／理事会

Live Your Dream 『夢を生きる』キャンペーン

『国際女性デー』である2006年3月8日に正式にスタートしたソロプチミスト『夢を生きる』キャンペーンは、世界中で多くの女性と女兒が貧困、差別、虐待等で苦しんでいる問題や、また国際ソロプチミストアメリカの使命でもある『女性と女兒がよりよい生活を送るのを助けるために何ができるのか』について理解促進を目指し、女性と女兒を助けるための活動です。これまで4回行われた『夢を生きる』アートコンテストは、夢を生きるよう女性と女兒を勇気付け、また幸運を他の人に引き継ぐよう励ますことを目的に、4歳から18歳までの生徒に毎回様々なテーマでソロプチミスト『Live Your Dream(夢を生きる)』キャンペーンのための絵画やロゴデザインの応募を呼び掛けています。



2013.6.15 / 8.5～6

国際ソロプチミストアメリカ

2013年ガールズカンファレンス

熊本市内合同ガールズカンファレンス

6月15日、パレアにて熊本市内4クラブより推薦の21名の女子高校生が参加し『私の将来の夢』について意見発表。続いてテーマについてのグループディスカッションも行いました。その審査の結果、南リジョンガールズカンファレンスに参加する熊本市代表4名が選ばれました。



南リジョンガールズカンファレンス

8月5日・6日、福岡KKR博多にて九州各地の各クラブより選抜された女子高校生48名、審査員も含めた約100名のオブザーバーが参加し、熱気にあふれた2日間のフォーラムになりました。

2日目、高校生たちはグループを移動しながらディスカッションを行い意見を交換します。『将来を担う女性の教育とリーダーシップ』のテーマに意識啓発された熊本市代表の高校生達は異口同音に『楽しかった～勉強になった! 人生観が変わった!!』と興奮を抑えきれない様子で熊本の帰路につきました。爽やかな夏休みの思い出になったことと思います。



2013.8.21

新入会員入会式

8期目を迎え、新たに1名の会員が入会され、入会式を行いました。(2013/8/21現在 会員数30名)

2013.10.16

卓話 1

『国際結婚 ―ステレオタイプと実際』

熊本大学経済学部時任教員 ムヒナ・ヴァルヴァラさんロシア語系女性たちへのインタビュー調査などを通じた国際結婚についての研究・考察についてお話しをお聞きました。

2013.10.16

リーフレット作成

メンバーシップや広報などに役立つ、わかばのリーフレットを作成しました。



2013.10.24

第6回チャリティーゴルフコンペ

恒例の行事となりましたチャリティーゴルフコンペも、今回で第6回目を迎えました。これまでずっと天候には恵まれて開催してきたコンペでしたが、今年初めてあいにくの雨模様の天気となり、大変不安な中、当日の朝を迎えました。しかし、そんな悪天候にもかかわらず、例年通り174名もの方にお集まりいただき、盛大に開催することが出来ました。参加いただいた皆様には、本当に心より感謝申し上げます。また、協賛下さいました企業様、そして運営に携わった方々にも、改めて感謝申し上げます。

皆様よりお預かりしました益金では、熊本市保育園連盟に『乳児用呼吸モニター』を贈呈させて頂きました。これは私達のクラブのメイン事業として、働くお母さん方が安心して子供を預けられますよう、「乳幼児突然死症候群SIDS」を予防するために市内各保育園に贈っており、今年で00台目となりました。これからもこのチャリティー事業を続けて、働く女性を応援していきたいと会員一同、強く願っております。今後ともご賛同・ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔松井素子委員長〕



2013.11.12

日本財団新潟

第34回贈呈式が、新潟朱鷺メッセに於いて、全国より5リジョンの会員約2,200名が参加して開催されました。

2014.1.22

卓話 2

アジアで唯一のフェアトレードシティである熊本市で、国際会議が開かれることになり、実行委員会の方からフェアトレードについて、お話しをお聞きました。



2014.5.28

第2回チャリティー昼食会

チャリティー昼食会の第2回目を開催いたしました。会場は、1回目と同じ「マリーグレース」。社会ボランティア賞で推薦したうらた剛様の表彰式に始まり、演奏と歌をご披露いただきました。147名もの皆様にご参加いただき、美味しい昼食をいただき懇談しました。そして、美味しいランチを頂きました。最後は、阿蘇世界農業遺産認定にも尽力された、NPO法人九州バイオマスフォーラム副理事長のERI(大津愛梨)さんを講師に迎え、ERIさんの作られたお米の抽選会で締めくくりました。

これからも継続事業として、この昼食会も続けてまいりたいと思っております。

この益金でも、熊本市保育園連盟に『乳児用呼吸モニター』を贈呈させていただきました。



2014.3.13～28

国際ソロプチミストアメリカ
『夢を生きる』アートコンテスト展示会

熊本市内4クラブ合同で開催しました。展示された絵画は『勇気と夢を与えてくれる女性』をテーマに描かれた人物像、約120点。コンテストに応募した子供達(4～18才)の作品です。描かれている女性は身近なお母さんから世界で活躍する女性まで様々。子供達の豊かな感性と生き生きとした楽しい絵画に、訪れた方も楽しそうに鑑賞されていました。



2014.17～18

第28回南リジョン大会

熊本市のホテル日航熊本で第28回南リジョン大会が開催され、95クラブ約1,400名の会員が参加しました。開会式には県知事を始め人気者くまモンも登場し賑やかな開幕となりました。今回、わかばクラブは会員全員出席を達成し、ソロプチミストの活動を再認識する有意義な大会となりました。



表彰事業

女性研究者賞

桑昭苑 (くめ しょうえん) 教授 2013.7.18

熊本クラブと熊本わかばクラブ合同で、熊本大学発生医学研究センター桑昭苑教授の『女性研究者賞』クラブ賞表彰式を熊本市現代美術館アートロフトで行いました。また、『IPS細胞を用いた再生医療研究』と題して研究内容をわかりやすく講演いただきました。医療分野での益々の活躍が期待されます。



女性に機会を与える賞(WOA)

A.K.さん 2014.2.19

A.K.さんは、子供2人(12歳と5歳)を持つ44才のお母さんです。現在は夫のDVのために、離婚裁判中です。人の一生を支える仕事として精神保健福祉士(国家資格取得)を目指し、働きながら大学で学んでいらっしゃいます。その目標実現の努力を称えクラブ賞を贈呈しました。また、リジョン大会においてアメリカ連盟賞2位・日本南リジョン賞2位も受賞されました。

ヴァイオレット・リチャードソン賞

千原台高校 1年 栢田麻帆さん 2014.3.10

『アフリカのこどもの日』の実行委員・『あしなが学生基金』・『乳児園児とのふれあい』等様々なボランティア活動に積極的に参加活動されるとともに、ご自身が発病している一型糖尿病(IDDM)についての、正しい知識の普及活動を行われています。これらのボランティア活動を称えてクラブ賞を贈呈いたしました。



成功を祝うソロプチミスト賞リジョン最優秀賞受賞

(一般的知名度部門) 2014.4.18

2013.6.20熊本市内にある国際ソロプチミスト4クラブ合同でガールズカンファレンスを開催しました。熊本市内大会は保護者、先生、ソロプチミスト会員、他報道TV、新聞社等200名を超える人達の前で21校を代表する夢の音が響きました。この取り組みを優良実践プロジェクトとして表彰されました。



社会ボランティア賞クラブ賞

うらた剛 さん 2014.5.28

2002年からミュージックボランティアとして県内外の福祉施設での慰問ライブが続けられています。オリジナル曲をはじめ曲のジャンルは幅広く、2014年5月には1,000箇所訪問公演を達成されました。その継続的なボランティア活動を表彰してクラブ賞を贈呈いたしました。

